

第51回愛知学院大学モーニングセミナー

いま、名古屋文学があつい！
—地元から発信する作家たち—

愛知淑徳大学 文化創造学部
教授 清水 良典

2010年6月8日

いま、名古屋文学があつい！

—地元から発信する作家たち—

2000年 文藝賞 佐藤智加

2004年 「女による女のためのR-18文学賞」大賞&読者賞 吉川トリコ*

2005年 「女による女のためのR-18文学賞」大賞 南 綾子

小説すばる新人賞 飛鳥井千砂

第133回芥川賞 中村文則

2006年 すばる新人賞 吉原清隆*

2007年 すばる新人賞 墨谷渉*

群像新人文学賞 諏訪哲史* 同優秀作 広小路尚祈*

第137回芥川賞 諏訪哲史

2008年 『すばる』新年号が「ナゴヤ文学」特集

第138回芥川賞候補 吉原清隆、墨谷渉

2009年 文藝賞 大森兄弟

2010年 第142回芥川賞候補 大森兄弟

* 現在も名古屋周辺に居住



ナゴヤで作家が暮らせるわけ

★ **生活リアリズムの土地**

★ **東京との距離**

★ **通信環境の発達**



ナゴヤ文学の特色

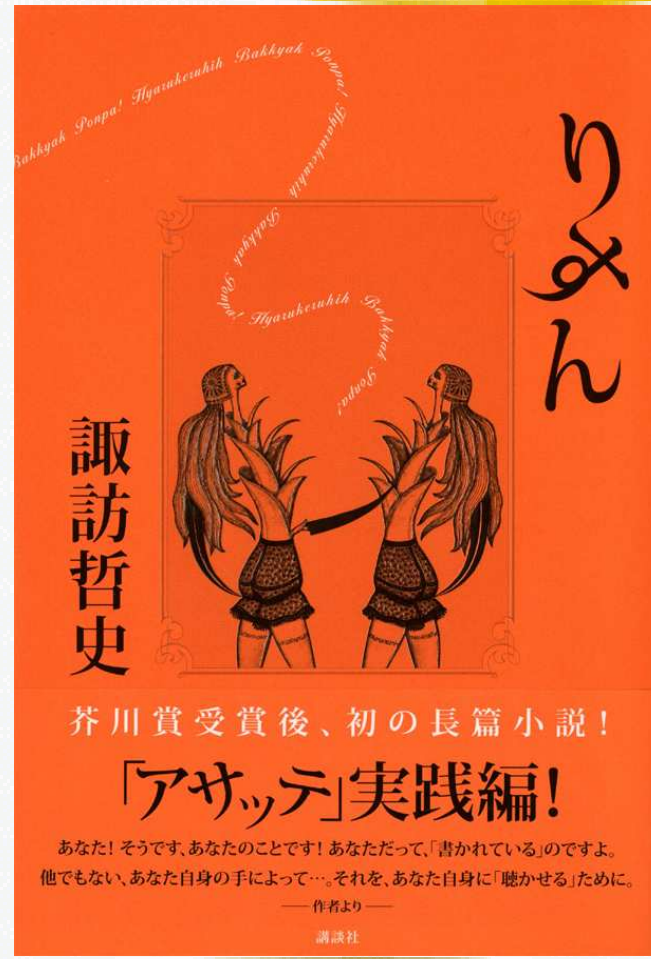
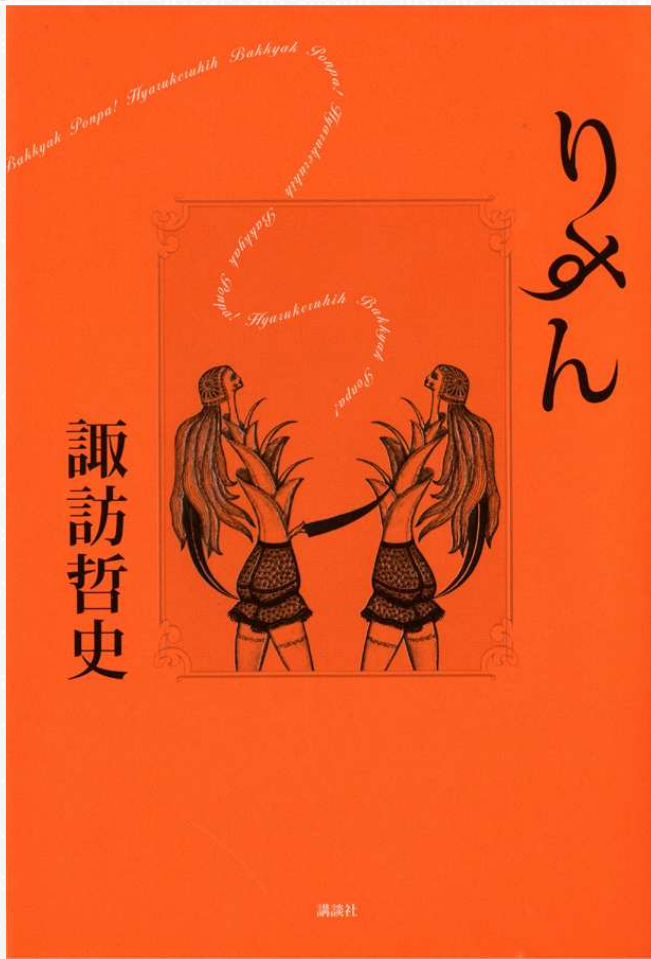
- ★ 共同体の中での孤独と疎外
- ★ 都市性と地域性の混在
- ★ 「景気」の光と影



諏訪哲史氏



『アサツテの人(講談社)』



創刊号 1973年11月創刊 毎月15日発行 定価1,100円(税別) 郵送料別

すばる

1

January 2008

新年号

墨谷渉 すばる文学賞
受賞第1作 荻野アイン
桑井朋子 中原昌也

2008 新年特別企画

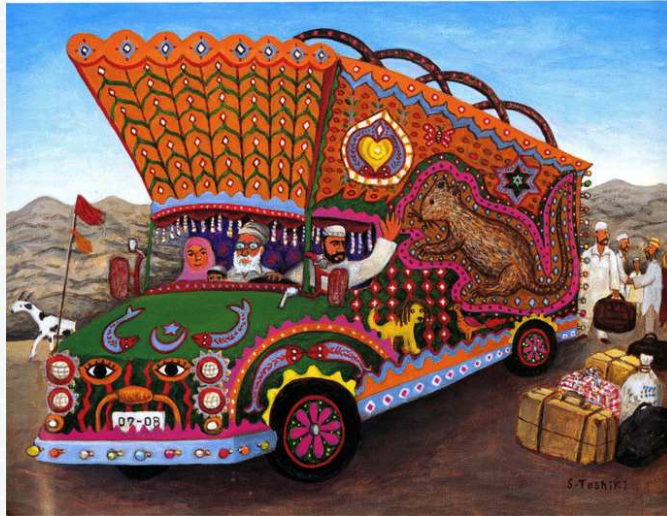
ナゴヤ文学革命

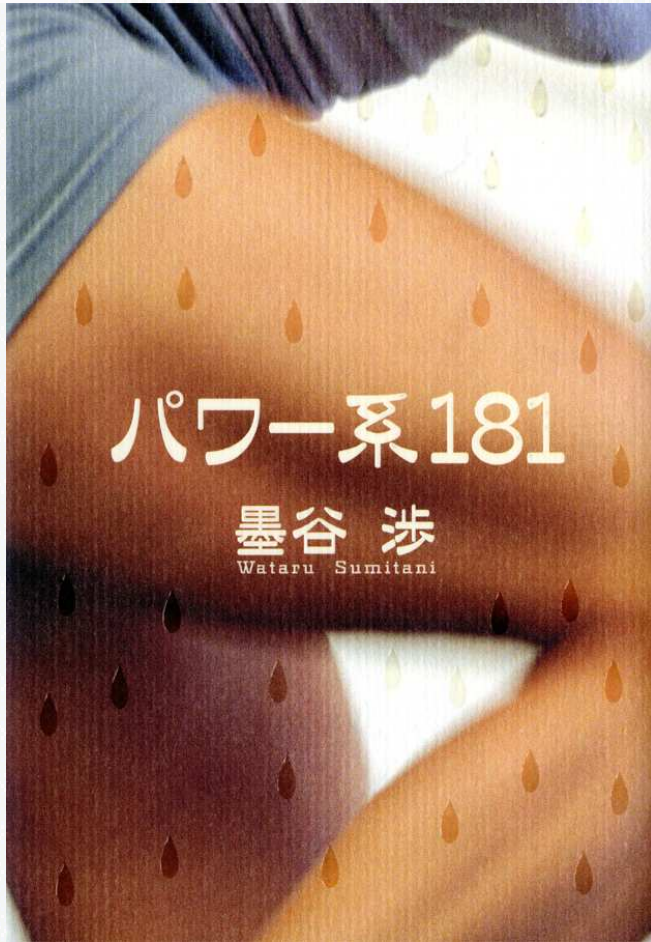
清水義範+諏訪哲史

世界が注ぐ中国へのまなごし
班忠義

名作り。パツケージ現象

永江朗 小畑健





第31回
すばる文学賞
受賞作

投げられる、
絞められる、
それで喜ぶ。
不可解な世界が
広がっています。
はつきり言って
狂っています。

墨谷、
大丈夫か？
高橋源一郎氏
講評

集英社 定価1365円 [本体1300円]



文藝春秋刊
定価(本体1143円+税)

小川洋子氏
絶賛!

解釈ではなく、
観察された暴力にこそ
快楽は宿る。
それを証明する一冊

ギャルたちに羽交い締めにされ
急所を蹴られた主人公・青木。
倒錯した性を緻密に描いた、
新進気鋭の第140回芥川賞候補作



吉原清隆
Yoshihara Kiyotaka

不正な処理

集英社



吉原清隆
Yoshihara Kiyotaka

不正な処理

第一四〇回
芥川賞候補作

**おい！俺はここに
いるんだぞ！**

ゲームで新しい世界を
創ろうとした高校生の
友情と破滅——。

コンピュータ世代の寄る辺ない心を覗く問題作

集英社
定価980円
本体933円